

緊急事態宣言の延長について

依然として重症者数は高止まりし、病床の逼迫度合いも改善されていない中、緊急事態宣言の延長はやむを得ない判断だと考えている。市民の安心な暮らしや経済活動を維持していくためには、さらなる感染の封じ込めと、医療提供体制の立て直しが必要である。引き続き一人ひとりが感染防止の意識をより強く持つとともに、国、京都府、京都市には、医療提供体制の拡充に向け、地域医療連携の強化に力を注いでいただきたい。

なおこの間、治療の最前線で奮闘されておられる医療従事者の皆さまに対して、あらためて厚く感謝申し上げるとともに、経済界としても地域医療をサポートするために、具体的な要請に基づいてできる限りの支援をしていきたいと考えている。

厳しい経営を強いられている事業者にとって、今回の延長はさらなる追い打ちになることは避けられない。本所としても会員企業の事業継続と雇用の維持を最優先課題とし、行政や他の支援機関等とも連携しながら、引き続き全力で支援していく所存だ。

令和3年2月2日

京都商工会議所
会 頭 塚 本 能 交